

# DIY HOMECENTER SHOW 2016

## 和信ペイント ワークショップ、連日大好評 H Cの女性スタッフが大挙参加

昨年大きな注目を集めた、ホームセンター（H C）の女性スタッフが参加するペイントワークショップを開催。今年規模を拡大し2日間で12社、34人の女性スタッフがそれぞれのH Cのユニフォームを着用して参加した。お題はペイント・デコパ・ステンシルで仕上げるウッドラック。組み立てから始め、木目を活かしたスライム仕上げ、デコパージュ・ステンシルとさまざまな塗料を使用し、作品づくりに挑戦した。

深澤筑紫社長も、「H



集まれ！ホームセンター女子ペイントワークショップ  
2日間で12社のH Cの女性スタッフが参加



Cの売り場で働いておられる方々は実際にはなかなか塗料に触る機会がない。一人でも多くの方に

塗料がどういうものかを触って経験していただき、売り場で役立てていただくのが狙いだ。昨年の第一弾をH Cの同僚や幹部、社長の皆さんが見て、このようなワークショップを自分の

店舗でも開催して欲しいという依頼が急増した。ジャパン・レディス・ペイントクラブ（JLPC）のメンバーの方々にも講師になっていただき対応しており、ワークショップの広がりにも手応えを感じている。

私共はニスのトップメーカーとしてすべてのH Cの売り場に当社のニスが並び、どこに行っても当社のニスを扱うことができるということが究極の目標だ。それに向けてH Cとは直接には、売り場の活性化のための女性によるお客様向けのワークショップに取り組み、昨年発売した天然ツバキ油配合で木肌のぬくもり感を生かせる水性オイルフィニッシュ「和（なごみ）」も新しい趣向でアピール。

8 mの大壁面に、ライブペイントアーティストの腹黒ヒガンさんによる、大迫力のライブペインティングも見ごたえがあり、終始お客様であふれる活気のあるブースとなった。

# HCの“売り場”を元気にする

## 和信ペイント ワークショップサポート

8月下旬に開催された「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2016」では昨年引き続き、ホームセンターの女性スタッフを集めたペイントワークショップを行った。

今回は関東近郊を中心に12社のホームセンターから35名の女性スタッフが参加。普段、塗料に触れる機会のない女性スタッフに塗料を理解してもらうことを目的としつつ「イベントの様子を見ていた他のホームセンターからぜひうちでもやってほしいというオファーを頂いた」(深澤筑紫社長)と、同社の販売展開につながるパフォーマンスとしても効果を発揮。

同社が提案するのは、ホームセンター店内でのワークショップサポート。2年前から活動を本格化させ、開催頻度は年間で数十件レベルに拡大。ホームセンターにとっては、参加者(地域住民)とコミュニケーションが図れるとともに、参加者以外も足を止めてワークショップを見学する姿であふれるなど、店内の活性化に寄与するとして評判。学校が休みになる春や夏は毎週の



やる方も見る方も真剣そのもの

ようにワークショップの依頼が寄せられる人気ぶりで、女性ペイント愛好者向けに設立したJapan Ladies Paint Club (JLPC)のメンバーと連携し、全国のホームセンターをキャラバンしている。

こうした取り組みは、次第に同社とホームセンターとの関係に変化を与えている。「これまでベンダーを経由しての取引が多かったが、ワークショップを通じ、ホームセンターから直接声をかけて頂けるようになった」(深澤社長)と直取引関係の拡大など実需に結びついている。

「今後も売り場の活性化に寄与していきたい」とホームセンターのサポートに徹する構え。

### ■和信ペイント

前年に引き続き、ペイントワークショップによる売り場活性化策を提案。バイヤーズデーの初日、2日目には、「集まれ!ホームセンター女子」と題して事前に予定していたホームセンター12社の女性スタッフを迎え、ペイントを楽しむ姿が見られた。

同社は2年前からホームセンター店内でのワークショップサポートに注力。以来「売り場が活性化する」との評価を高めており、ホームセンターとの関係構築につなげている。

製品では、天然ツバキ油を配合した水性自然塗料「和」を出展。自然発火がなく、木肌を生かしたオイルフィニッシュ仕上げができる。

ペイント&コーティングジャーナル

第3191号

平成28年(2016年)9月14日